

アキュラグループ 2012 年度入社式社長訓示

新入社員 41 名（アキュラホーム 37 名・オカザキホーム 4 名）が入社

～社長訓示「大きな夢を持ち自己実現を！」～

株式会社アキュラホーム（東京都新宿区 社長：宮沢俊哉）は、4月2日（月）に本社にてグループ会社オカザキホームと合同で、2012年度入社式を行いました。今年度はグループを併せ、41名（アキュラホーム37名、オカザキホーム4名）の新入社員が入社しました。



※カンナ台を前に社長の宮沢と新入社員 41 名で記念写真

震災対応や円高などの厳しい経営環境のあおりを受けるなどし、今春卒業予定の大学生の就職内定率は 80.5%と、96 年の調査開始以降過去 3 番目（文部科学省、厚生労働省調べ）に悪い内定率となりました。

当社では今期（2012年3月）、持株会社体制へ移行し「株式会社アキュラホールディング」を設立しました。更なる成長と新たな企業価値創造を目指すにあたって、若くバイタリティに溢れる新入社員を採用することで、組織全体の活性化を促進し、当社のミッション「日本の住まいを安くする」の実現に向けて邁進してまいります。

代表取締役社長 宮沢俊哉 入社式訓示(要旨)

皆さん本日は入社おめでとございます。アキュラグループの役員、社員を代表して歓迎の意を表したいと思います。昨年の東日本大震災は被災地や日本経済に大きな影響をあたえましたが、現在少しずつ復興の兆しが見えてきました。2012年度復興元年入社の皆さんは、これからの長い人生においてこの震災の経験を忘れないで欲しいと思います。

今年度もアキュラグループには1万人を超える多くの方にエントリーいただきました。皆さんはその中から厳しい選考の上、選ばれた 41 名です。我々のミッションを共有し、実現していける仲間として皆さんを迎えました。ぜひ自信と誇りを持ってアキュラグループの一員になっていただければと思います。

さて、社会人としてのスタートラインに立った皆さんは、何のために働きますか。「働く」という言葉は「傍を楽にする」ことが語源といわれています。昔、江戸の人は朝飯前に向こう三軒両隣に声をかけながら、母子家庭や一人暮らしの老人の様子を見て廻るのが日課だったそうです。そして朝ご飯を食べた後は、生活のために働いてお金を稼ぎ、昼食が済んだ午後からは、人のため、町のために、「傍（はた）を楽にする」ため働き、今でいうボランティアに精を出したそうです。人の価値観は様々ですが、人生の時間を多く費やす仕事は人生に大きく関わります。私は仕事を「人生」と考えたとき、人のため、世のためにするものであり、それが幸せになる術ではないかと考えています。

また一方、皆さんには是非とも大きな「夢」を持って欲しいと思います。明治期の実業家である渋沢栄一氏の言葉に「夢七訓」というものがあります。「夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず」。皆さんが本当に幸せな人生を送れるよう大きな夢を持って欲しいと思います。今一度「働く」、そして「人生」を考えながら、皆さんの人生の自己実現に向けて、アキュラグループを皆さんの成長の場として大いに活用してください。共に日本の住環境を変え、日本の暮らしを豊かにすることで皆さんが喜びを感じていただければ幸いです。皆さんの今後の成長と活躍を期待しています。

入社式の後には宮沢社長が新入社員にカンナがけを披露し、記念すべき社会人スタートの日に、『匠（たくみ）の心』、妥協することなく住まう人のために精進し、努力を惜しまない心を持ち続けてほしいと伝えました。

<本件についての報道関係からのお問い合わせ先> 株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越、若林
TEL : 090-5753-6631 FAX : 03-5909-5560 Email : horikosi@aqura.co.jp

●写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>